



議会だより

なよろ



2015.4.1 発行

36
No.



雪解けが進み、福寿草^{みくじゅそう}の開花ももうすぐ。エゾリスやアカゲラの活動も盛んになってきました。



第1回定例会

定例会で決まったこと・議員協議会	2
名寄市みんなを結ぶ手話条例・予算審査特別委員会	3
議決結果	4
代表質問に3人・議員研修会・議会日誌・可決された意見書... 5 ~ 7	
一般質問に10人	8 ~ 12
各委員会活動報告	13
きぼう・議会スナップ・編集後記	14

平成27年 第1回定例会 2月25日～3月20日

名寄市みんなを結ぶ手話条例を制定(議員提案条例)
 ～手話を言語と認識し、理解の輪をひろげよう～

平成27年第1回定例会は2月25日から3月20日までの24日間にわたり開催され、条例案24件、補正予算案11件、新年度予算案10件、その他8件、意見書案2件を審議しました。このうち新年度各予算案については、全議員による平成27年度予算審査特別委員会を設置して審議、また、3月10日の代表質問には3人、11日、12日の一般質問では10人の議員が市政の課題等について問いました。

主な条例の制定等

名寄市みんなを結ぶ手話条例の制定(次ページ参照)

手話はろう者にとつて意思を伝える言語であることを認識し、みんなが安心して暮らせるまちを実現するため、全議員の提案により条例を制定しました。

名寄市個人情報保護条例の一部改正

災害対策基本法の改正に伴い、名寄市災害時要援護者支援事業実施要綱に基づく登録者を、引き続き措置できるようにするためのものです。

名寄市高齢者自立支援事業条例等の一部を改正する条例

除雪費用の高騰により、現

行の除雪サービス等助成事業の助成額を平成27年度から増額するものです。

名寄市木材需要拡大センター条例の廃止

「なよろ親林館」の愛称で親しまれてきた名寄市木材需要拡大センターの役割を健康の森に隣接する「トムテ文化の森」に集約し、施設は新たに

「子育て支援センター」として本年10月にオープンを予定するものです。



木のぬくもりが感じられる親林館

名寄市立学校設置条例の一部改正

名寄市立豊西小学校を南小学校と西小学校に分割統合、名寄市立東風連小学校は児童数減少のため平成27年度をもって閉校するものです。

主な補正予算

障害者福祉一般行政経費グループホーム設置(2カ所)に対する補助金375万円を追加しました。

街路維持管理事業費

主に電気料値上げによるもので、883万2千円を追加しました。

プレミアム付き商品券発行事業費

地域の消費喚起を図る目的で、道と連携して25%増の買い物ができる商品券(1万円で12,500円分)発行事業に6660万円を追加しました。

人事案件

副市長の選任に同意

橋本正道氏(新任)

名寄市西5条南7丁目

名寄市教育委員会委員の任命に同意

高橋雅樹氏(再任)

名寄市西1条南3丁目18番地

議員協議会(2月25日・3月11日・3月12日)

本会議終了後に開催された議員協議会では、名寄市第6期高齢者保健医療福祉計画及び介護保険事業計画と平成27年度より本格的にスタートする名寄市子ども・子育て支援事業計画の説明を受けました。

これらの事業計画は、直面する少子高齢時代にあつて大変重要な施策であるため、将来あるべき名寄市の姿を見据えながら真剣に耳を傾け、3月20日の本会議最終日において集中的に審議し、全て原案のとおり可決しました。

また、3月11日には「名寄市みんなを結ぶ手話条例」の制定に向けての協議を行い、全議員による提案を確認しました。



計画の説明を受ける議員協議会

名寄市みんなを結ぶ手話条例 全議員の一致した意見により制定されました。

名寄市みんなを結ぶ手話条例

名寄市民憲章（平成19年制定）では、名寄の市民が「からだと同じく健康を大切にし、互いに温かい思いやりをもって、安心して暮らせるまちをつくりまします」と誓っています。

この温かい思いやりを表現し、いきいきと伝え合うのが言語です。言語はお互いのこころを通わせる大切なものですが、ろう者にとっても手話は意思を伝え知識を蓄え、文化を創造するための大切な言語です。

障害者基本法（昭和45年法律第84号）においても手話は、言語として位置づけられています。

私たち名寄市民は、手話を言語として認識し、手話への理解の輪を広げ、ろう者が安心して暮らせるまちを実現するため、この条例を制定します。

（目的）

第1条 この条例は、手話への市民の理解を広げ、手話を必要とする市民の安心できる日常生活の実現及び社会参加が保障されることを目的とします。

（基本理念）

第2条 手話を必要とする市民は、手話による意思伝達の権利を有し、その権利は尊重されなければなりません。

（市の責務）

第3条 市は、市民の手話に対する理解を広げる施策、手話を使いやすい環境とする施策を推進するよう努めるものとします。

（市民の役割）

第4条 市民は、市が推進する施策に協力するように努めるものとします。

（施策の推進）

第5条 市は、次の施策を推進するよう努めるものとします。

(1) 手話の普及啓発
(2) 手話による情報取得及び手話が使いやすい環境づくり
(3) 手話による意思疎通支援
(4) 前3号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める事項

2 市は、前項に規定する施策を推進するときは、障がい者その他の関係者の意見を聴きその意見を尊重するよう努めなければなりません。

附則

この条例は、公布の日から施行する。

ありがとう



平成27年度 予算審査特別委員会

全会計442億4618万8千円を可決

名寄市の平成27年度予算は、一般会計では前年度比（肉付け予算後）5・6%増の232億9633万1千円で過去最大の額となり、特別会計7会計では前年度比8・4%増の85億2936万5千円、企業会計2会計を含む全会計総額は、前年比1・4%減の442億4618万8千円となりました。

2月25日の本会議で全議員により構成する平成27年度予算審査特別委員会（日根野正敏委員長・塩田昌彦副委員長）を設置して予算案が付託され、3月16日、18日、19日、20日の4日間にわたり、慎重な審議が行われました。

最初に各会計にかかわる横断的な事項に対する総括質疑を各会派の代表3名によって行い、その後、会計ごとの審査に入りました。

人口推計から懸念される税収の減少や今後、予定されている大型事業の実施に向けて

健全な財政運営が求められているため長期的な視点からの質問も多くあり、除雪対策、高齢者福祉、保育行政など市民生活に直結した予算配分と合わせて慎重な審査が行われました。

全会計について審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定し、3月20日の本会議で報告しました。



日根野正敏委員長（左）と塩田昌彦副委員長（右）

平成27年第1回定例会議決結果

議案番号	件名	結果
平成26年第4回定例会付託議案第9号	名寄市多目的研修センター条例の一部改正について	原案可決
議案第1号	名寄市保育所に関する利用者負担額を定める条例の制定について	原案可決
議案第2号	名寄市行政手続条例の一部改正について	原案可決
議案第3号	名寄市個人情報保護条例の一部改正について	原案可決
議案第4号	名寄市職員定数条例の一部改正について	原案可決
議案第5号	名寄市基金条例の一部改正について	原案可決
議案第6号	名寄市高齢者自立支援事業条例等の一部改正について	原案可決
議案第7号	名寄市介護保険条例等の一部改正について	議案撤回
議案第8号	名寄市ふうれん望湖台自然公園条例の一部改正について	原案可決
議案第9号	名寄市手数料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第10号	名寄市立学校設置条例の一部改正について	原案可決
議案第11号	名寄市木材需要拡大センター条例の廃止について	原案可決
議案第12号	名寄市高齢者保健医療福祉計画及び介護保険事業計画を定めることについて	議案撤回
議案第13号	上川教育研修センター組合規約の変更について	原案可決
議案第14号	平成26年度名寄市一般会計補正予算(第8号)	原案可決
議案第15号	平成26年度名寄市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第16号	平成26年度名寄市介護保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第17号	平成26年度名寄市下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第18号	平成26年度名寄市個別排水処理施設整備事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第19号	平成26年度名寄市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第20号	平成26年度名寄市公設地方卸売市場特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第21号	平成26年度名寄市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第22号	平成26年度名寄市病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第23号	平成26年度名寄市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第27号	平成27年度名寄市下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第28号	平成27年度名寄市個別排水処理施設整備事業特別会計予算	原案可決
議案第29号	平成27年度名寄市簡易水道事業特別会計予算	原案可決
議案第30号	平成27年度名寄市食肉センター事業特別会計予算	原案可決
議案第31号	平成27年度名寄市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第32号	平成27年度名寄市病院事業会計予算	原案可決
議案第33号	平成27年度名寄市水道事業会計予算	原案可決
議案第34号	名寄市教育委員会委員の任命について	同意
議案第35号	名寄市職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決
議案第36号	工事請負契約の変更について	原案可決
議案第37号	特別職の職員の給与の支給特例に関する条例の制定について	原案可決
議案第38号	名寄市議会基本条例の一部改正について	原案可決
議案第39号	名寄市子ども・子育て支援事業計画を定めることについて	原案可決
議案第40号	平成26年度名寄市一般会計補正予算(第9号)	原案可決
議案第43号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第44号	名寄市副市長の選任について	同意
議案第45号	名寄市議会委員会条例の一部改正について	原案可決
議案第46号	名寄市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第47号	名寄市議会会議規則の一部改正について	原案可決
議案第48号	名寄市みんなで結ぶ手話条例の制定について	原案可決

(採決により可決された議案)

(賛成) ×(反対) 欠(欠席) 退(退席)

議案番号	件名	議員名	市民連合・凜風会						市政クラブ				議	新緑	清	公	共																
			高野美枝子	竹中憲之	佐藤 靖	奥村 英俊	熊谷 吉正	佐藤 勝	日根野正敏	植松 正一	塩田 昌彦	山田 典幸						川口 京二	佐々木 寿	駒津 喜一	東 千春	黒井 徹	大石 健二	山口 祐司	上松 直美	高橋 伸典	川村 幸栄						
平成26年第4回定例会付託議案第1号	名寄市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について							欠																									×
平成26年第4回定例会付託議案第3号	名寄市地域包括支援センターが包括的支援事業を実施するために必要なものに関する基準を定める条例の制定について							欠																									×
平成26年第4回定例会付託議案第4号	名寄市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について							欠																									×
平成26年第4回定例会付託議案第8号	名寄市民文化センター条例の一部改正について							欠																									×
議案第24号	平成27年度名寄市一般会計予算							欠																									×
議案第25号	平成27年度名寄市国民健康保険特別会計予算							欠																									×
議案第26号	平成27年度名寄市介護保険特別会計予算							欠																									×
議案第41号	名寄市介護保険条例等の一部改正について							退																									×
議案第42号	名寄市高齢者保健医療福祉計画及び介護保険事業計画を定めることについて							退																									×

新緑(新緑風会) 清(清風クラブ) 公(公明) 共(共産党) 議(議長) 議長は表決に加わりません。

代表質問

9月までに開設



医療行政について

問 市立病院の救命救急センター開設に向けた準備状況と開設時期、開設後の安定的な運営の考え方について伺う。

答 昨年8月に事業計画を提出し、今年2月に救命救急センターの選定を受けた。医師・看護師等の人材確保に努めベッド数12床で27年度上半期（9月まで）開設予定。収益面では18億円から増加した人件費分は差し引かれるが一定の効果はある。開設後の安定した運営には、安定した人材確保と回復期・慢性期に対する医療機関相互の連携・役割分担が必要。

名寄市立大学の展望

問 大学がめざす知の拠点とは何か、また、地域に信頼

市民連合・凜風会

奥村英俊 議員

される大学運営について伺う。

答 「質の高いケアの専門職養成」を使命とし、人材・研究・教育の地域貢献による地域からケアの未来をひらく大学」を目指し、道北地研と地域交流センターの統合を進め道北定住圏域の住民生活の安定・安心への貢献を目指す。信頼される大学運営のために、大学として総合力の向上に努めるよう求めていく。

小中一貫教育について

問 智恵文地区での取り組みの目的と期待する成果、全市での取り組みについての考えを伺う。

答 智恵文小と智恵文中は、地域の人・もの・自然を生かした特色ある教育活動に取り組み、子どもたちの「生きる

力」の育成に大きな成果を上げていく。小中一貫教育に関する調査研究を進めていく必要があり、これまでの地域に根ざした教育活動の推進状況などを総合的にとらえ、本市のモデル事業に最適と判断。名寄市内では、多くの制約や課題があり、当面は智恵文地区で小中一貫教育の取り組みを進め、その成果を各地区の学校で共有し、小中連携の充実を図っていく。

他の質問・保健福祉行政について・経済行政と賑わい創出について・観光振興について



救命救急に不可欠なドクターヘリ

市議会議員会研修会

平成27年1月21日

今年の議員会（東千春会長）新年研修会は、旭川財務事務所主催の財務行政懇話会と合わせての開催となりました。

会場となった市役所大会議室には、多くの市の職員や市内金融関連事業者の方々が参集し、日本の財政状況や身近な金融犯罪をテーマとした講演を聴き、安定した行政の推進を決意しました。



市内経済人等と名寄市の経済を考えた研修会

代表質問

市政の長期展望を



市政クラブ

東 千 春 議員

市政推進について

問 正確な事務処理と共に柔軟な発想を行政に取り入れるための対応は。官民共にホスピタリティ教育を。総合計画と共に将来ビジョンを踏まえた市民議論を。名寄市が持つ財産が連携するまちづくりについて。

答 コンプライアンス（法令遵守）の徹底を行い、職員研修や提案制度、自主研修、職員派遣の取り組みや、市民活動や町内活動等に参加し、市民の視点に立ったニーズの把握に努める。庁内では職員の接遇マナー研修を行うと共に名寄市観光交流進行協議会のホスピタリティ部会で認識を広めたい。地方創生の取り組みの一つとして、2060

年までの人口ビジョンの策定を踏まえ、総合計画策定審議会をはじめ、まちづくり懇談会などの市民議論から将来像を描きたい。名寄市が持つ地域資源を点から線のストーリーづくりに取り組みたい。

安心のまちづくりは

問 健康寿命の長寿化をめざす取り組みを。保健師の地区担当制の考えは。市立病院の給与表整備の影響と、看護師の勤務体制は。

答 地域での健康教室では「みんなの体操」や「ロコモ体操」などの普及、介護予防としては「嚙呼体操」の指導を行い、自主的に継続する大切さの啓発を行っており、町内会や団体に推進を図りたい。保健師の活動では業務担当制

により「成人」「母子」に分けて行っているが、業務担当制の一部を残しながら、来年度から「地区担当制」を導入する。

医療看護職給与表は101名中34名が希望した。看護師募集で初任給引き上げをPRし確保につなげたい。看護基準7対1は収入のメリットもある。重症度の判断基準が上がったが、今後も現状を維持したい。

他の質問・主要事業と協働のまちづくり・商工建設業について・環境、教育について



地域資源の有機的連携を（きたすばる）

議会日誌 4~6月

- 1/14 議会報特別委員会
- 1/15 総務文教常任委員会
- 1/16 市民福祉常任委員会
- 1/19 会派代表者会議
- 1/21 経済建設常任委員会
- 1/26 会派代表者会議
- 2/3 議員会新年研修会
- 2/3 総務文教常任委員会
- 2/3 全国市議会議長会
- 2/3 協議会（東京）

- 2/10 全国高速自動車道市議会協議会定期総会（東京）
- 2/16 市民福祉常任委員会
- 2/18 経済建設常任委員会
- 2/18 各会派代表者会議
- 2/23 議会運営委員会
- 2/25 総務文教常任委員会
- 2/25 平成27年第1回定例会開会
- 2/28 議員協議会
- 2/28 全道市議会議長会事務局
- 2/28 長会議（札幌）

- 3/4 各会派代表者会議
- 3/4 市民福祉常任委員会
- 3/12 各会派代表者会議
- 3/12 議会運営委員会
- 3/12 幹事長会議
- 3/12 議員協議会
- 3/13 市民福祉常任委員会
- 3/16 平成27年度予算審査特別委員会（～20日）
- 3/17 議会報特別委員会
- 3/18 議会運営委員会
- 3/20 定例会閉会

合併十年を振り返って



新緑風会

山口 祐 司 議員

評価と未来について

問 合併十年を振り返ってどう評価されているのか、また、今後の未来に向けて、まちづくりをどう進展させていけるのか。

答 新市においては、健全な財政運営を基調としつつ、市民の安全安心や経済の活性化、教育文化などの向上を図るための整備を行うとともに、地域の財産を活かしたまちづくりを進めるほか、「自治基本条例」を制定し、市民が主体のまちづくりを推進するなど一定の成果があったものと認識しておりますが、一方でそれぞれが百年を超える歴史を持つ自治体同士の合併であったことから、これまでの期間では解決できず、今後に残され

た課題もあるものと受け止めている。今後も本市が有する様々な資源や優位性を最大限に活かしながら将来にわたって自立的で持続的な地域社会を構築できるよう、行政と市民が一体となった地域を挙げたのまちづくりに全力で取り組んでいく。

道の駅からまち中へ

問 道の駅「もち米の里」なよろ」は、市内はもとより市外より多くの観光客が訪れますが、この観光客のみならず、まち中へ誘導する具体的な考え方は。

答 道の駅は、もち米にこだわった特産品をはじめ、名産の安全安心な農産物等を豊富に取り揃えている一方で観光情報等を発信するスペース

が不足している課題を抱えている。現在道の駅では、なよろ市立天文台「きたすばる」名寄ピヤシリスキー場のパンフレット等が配置されているほか北海道立サンピラーパークや、なよろ健康の森のポスター等も掲示されています。今後は、指定管理者はもちろんのこと、なよろ観光まちづくり協会や風連まちづくり観光と連携し道の駅を訪れる市外の利用者がより一層市内の周遊観光に波及するよう、地域の「旬」な情報の提供や周辺地域を含めた観光情報の提供等について検討していく。

他の質問・施設維持管理・農業振興・薬物乱用防止教育・市内防犯カメラについて



観光の拠点道の駅「もち米の里 なよろ」

第1回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。(要望概要)

農協関係法制度の見直しに関する意見書

農協法改正案の取り扱いにあたり、地域農業・農村の持続的発展を図るため、食料の安定供給、地域の振興について農協法の目的に明確に位置付けし、事業目的の見直しにあたっては、協同組合の基本的性格を維持すること、など他3項目を要望するものです。

TPP交渉等国際貿易交渉に係る意見書

TPPは農業だけの問題ではなく、国民一人ひとりの暮らしや地域社会に将来に大きな問題であることから、政府は平成25年4月の衆参両院農林水産委員会における決議「環太平洋パートナーシップ(TPP)協定交渉参加に関する件について」を遵守するとともに、決議が遵守できない場合は、TPPから脱退することなど要望するものです。

一般質問



子ども中心の教育行政を

日本共産党 川村 幸 衆議員

教育委員会改変について

問 首長任命の新教育長 総合教育会議の三つの新しい仕組みが加わった改正法が4月から施行されるが、教育への政治支配を許さないためにも、教育委員会が教育の自由、自主性を守る本来の役割を果たすことが重要。国は、教育委員会制度発足時の「三つの根本方針（中央集権でなく地方分権、民意の反映、一般行政からの独立）」は変わることがないとしているが考えは。

答 最終的な執行権は教育委員会にあり、中立性、独立性は担保されていると認識する。

道徳の教科化に危惧

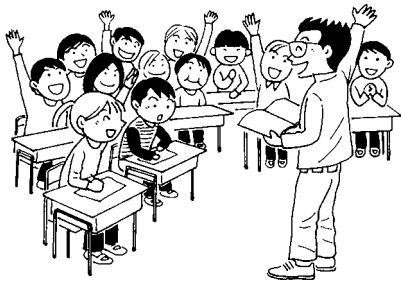
問 昨年10月、中教審で「いじめ問題」への対応等を理由に出されたが、道徳でいじめ対策は疑問、道徳の教科化でいじめ解決できないと教育関係者から疑問や危惧する声、

保護者からは小1・2年生から「愛国心」が盛りこまれることに不安の声が聞かれる。

学校、家庭、地域社会との連携を深めた教育こそが、いじめをなくしていくことにつながると思うが、また、評価は数値でなく記述式で行うというが、教育長の考えは。

答 教科化は必要と考えるが、これでいじめはなくなり、道徳は心の教科。数値評価はふさわしくないと考える。

他の質問・高齢者無料バス券を・生活困窮者の実態調査を



どの子ども笑顔で学べる学校づくりを

社会的企業の可能性

問 福祉的就労でも一般就労でもない第3の雇用の場として社会的企業（ソーシャルファーム）が注目されている。企業の経営手法で、障がい者就労困難者のために支援付き雇用の場を提供し、障がい者の自立と健常者との共生を目的に市場価値のある製品、サービスを創出し運営される社会的企業をソーシャルファームという。本市におけるその可能性をしっかりと検討すべきでは。

答 ソーシャルファームは、福祉でも一般でもない障がい者雇用の場を創出し、障がい者の特性に適応した作業環境システムを構築し、社会参加の促進が達成される。また、障がい者を含めた多様性ある協働型のシステムで、一人ひとりの障がいに合わせて多様な作業工程を生み出し、一般企業では採算が取り難い。む



共に生き共に働く

清風クラブ 上松 直 美議員

しる人手をかけることによって良品質の商品を生産し、付加価値を高め、多くの労働力を多種多様に抱える可能性となり、新たな障がい者の雇用の場としては、有効な方策と考えているが、事業収益の確保、施設・設備の整備、販路市場の開拓、商品サービス開発などの課題もあることから、今後、名寄市障がい者自立支援協議会で調査研究し、障がい者や労働市場で不利な立場にある方々に必要な支援と自立の環境整備に努めたい。



自然と共生による障がい者雇用

一般質問



地方創生戦略の推進を

公明 高橋 伸 典 議員

まち・ひと・しごと創生法

問 「まち・ひと・しごと」

を創生する戦略を立てる人材確保の考えと地域を元気にするために、創生法で女性が安心して出産や子育てができる支援策は。

答 国の「地方創生人材支援制度」を活用した人材派遣の希望をした。全国144の市町村が本制度を希望しており、本市に人材が派遣されるか定かでない状況にある。派遣にならなかった場合は、北海道に創生のある国の職員が地方創生の相談窓口となる「地方創生コンシェルジュ」を選出。また、ビックデータで産業や観光、人口に関する「地域経済分析システム」の開発と提供を受ける。北海道も各振興局に幹部職員の人的支援を受け進める。出産・子育てに関しては、妊娠が判明し母子手帳の交付、妊娠一般健康診査の案内、こんにちは赤ちゃん

訪問を生後4カ月までに全戸訪問し、各健診や予防接種の案内相談を行い、親子の交流を図る場をつくりながら相談にあたり、安心して産み育てる環境づくりに取り組む。

交通・買い物弱者の利便性を

問 バス停まで距離がある

高齢者への利便性の向上は。

答 市内循環バス路線の見直しと併せ、デマンド交通やハイヤーによる効率的・効果的なサービス提供を検討する。他の質問・冬の道路の安全対策について



安心して出産・子育ての環境を

冬の市民の安全対策について

問 2月4日開催の防災訓練の検証。今冬の除排雪体制、交差点や屋根の雪下ろし事故等をふまえた安全対策について。

答 防災訓練については昨年8月の洪水災害をふまえて初めて開催した。今後につなげていきたいと考えている。ハザードマップについては夏までに配布したい。屋根の雪下ろし事故については高齢者が多いことから、高齢者向け情報発信していく。排雪や路面対策については、他の市町村からの情報を収集し、研究・検証を行っていく。

図書館のありかたについて

問 大学図書館が29年度に新図書館になるが、市内には市立図書館もある。この二つの図書館を今後どのように活用するのか。また、子供たちへの対応についてもどのように考えているのか。

答 大学の図書館と市立図書館とはその用途が違うので、第二次新名寄市総合計画策定の中で時代に対応した図書館施設のあり方について検討する。市内には、研究・実験・観察を行うことができる北国博物館や天文台がある。各施設も利用しながら子どもたちの知的好奇心や探究心を育み、活動をサポートする。

安心安全な名寄市

市民連合・凜風会 高野 美枝子 議員

答 大学の図書館と市立図書館とはその用途が違うので、第二次新名寄市総合計画策定の中で時代に対応した図書館施設のあり方について検討する。市内には、研究・実験・観察を行うことができる北国博物館や天文台がある。各施設も利用しながら子どもたちの知的好奇心や探究心を育み、活動をサポートする。

他の質問・農業・食育の現状

・男女共同参画条例制定に向けた現在の状況について

答 大学の図書館と市立図書館とはその用途が違うので、第二次新名寄市総合計画策定の中で時代に対応した図書館施設のあり方について検討する。市内には、研究・実験・観察を行うことができる北国博物館や天文台がある。各施設も利用しながら子どもたちの知的好奇心や探究心を育み、活動をサポートする。



防災訓練より

一般質問



皆で支える環境づくり

市政クラブ 佐々木 寿 議員

大震災の教訓を踏まえて

問 平成25年の国の災害対策基本法改正に伴う本市としての対応について伺う。

答 国の改正に伴い本市では3月末までに避難行動要支援者の把握を行い、名簿作成できるよう準備を進めている。また、名簿の活用は、地域防災計画に定めることとされ、法定化の項目は、3月下旬に開催予定の防災会議に諮る予定で、全体計画についても名簿作成とセットとなっているので、地域防災計画策定の留意事項に基づき、関係機関・団体、要支援者の関係者、高齢・障がい者等多様な主体の参画を基本に進めていく。避難勧告指示は、国の避難勧告等の判断伝達の作成ガイドラインが26年に大幅に改定された。基本法では一人一人の命は最終的に個人との考えだが、行政としては住民が避難行動をとる判断ができる知識と情

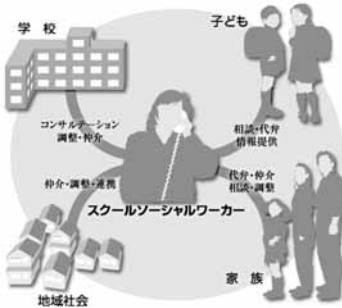
報の提供が役割となるため、基準となる策定作業を昨年から進めている。

SSWの活用を

問 スクールソーシャルワーカー（SSW）の現状と将来的な活用等について伺う。

答 本市はSSWは配置していないが、教育推進アドバイザー等の専門相談員を中心に、児童が抱える問題解決に対応している。今後の活用は先進事例を参考に調査研究を進めていく。

他の質問・小学校の英語教育、交流人口拡大他



児童生徒が置かれた環境問題への働きかけをするSSW



すべてにおいて「整合性を」

市民連合・凜風会 佐藤 靖 議員

市民との情報共有 徹底を

問 市長は今年に入り、「対話と連携」を推進することを強調している。首長としては当然の姿勢だが、今、なぜ強調されたのか。また、市民と対話を進めるためには、情報共有が基本と思うが、男女共同参画推進計画、名寄市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例などでは、行政としてやらなければならないことがされていない。また、新たに決めることも事前に協議されていない。また、実態を把握せずに関係団体に注文をつけるなどについて批判もあるが。

答 「対話と連携」は、新たな総合計画策定作業を始める年であることから、市民が一つになって、総意で物事を進めたい、という思いからかかげさせていただいた。ご指摘の事項は、実態を把握しながら、しっかりと対応していく。

市の財産を守るため

問 名寄市立総合病院の26年度補正で、看護師確保がきず減額となったが、現状と課題は。また、名寄市立大学図書館がいよいよ着手となるが、学舎を含め、ケアの未来をひらく大学にふさわしい施設を目指すべきではないか。

答 27年度の看護師確保状況は9人であり、十分とは言えない。大学のバリアフリーについては認証評価でも指摘を受けており、今後検討し計画的に進めていく。



ケアの未来をひらく大学にふさわしい施設が求められる名寄市立大学

一般質問



少年団育成と合宿の里

市政クラブ 塩田昌彦議員

名寄ピヤシリスポーツ少年団の育成

問 スポーツ少年団員の減少と指導者の育成について

答 平成26年度の少年団登録は、名寄地区20団体、風連地区5団体が登録されており、団員511人、指導者が91人となっている。各小学校とも、児童数が減少してきており、団員数が減少する要因になっている。指導者においては、従来は教職員が指導にあたるなど、地域貢献に繋がっていたと認識しているが、指導者の確保において、教職員の異動等に配慮するなどの対策を講じてきており、今後においても関係者が一丸となって指導できる体制整備を図っていく。

合宿の里づくりについて

問 合宿の里ネットワーク組織、合宿庁内検討会議の活動とジュニアオリンピック名寄大会の準備体制について

答 名寄市観光振興計画の



少年団活動

戦略の一つ、情報ネットワークの掌握に向け、組織づくりの検討を行っている。本年、補助金を活用し、合宿アドバタイザー招へい事業など、民間組織と連携を図り合宿受入の方向性を見極める策を講じてきた。ジュニアオリンピックの開催に向け、実行委員会組織の立上げ等検討していく。
他の質問・名寄市中小企業振興条例の見直しについて



安心・安全な街に

市民連合・凜風会 竹中憲之議員

市立病院の動線対策

問 駐車場からの動線及び内科診察室への動線の明確化と救急入口への分りやすい表示について

答 駐車場から施設入口への看板設置については、雪解け後に来院者に分かりやすい案内方法を検討する。内科診察室（特に血圧・体重測定箇所）への動線については掲示をしており、その都度案内をしている。駐車場から救急外来については、特に明確に区分けがされていない。歩行者の安全確保のためにも検討をする。

空き家対策について

問 少子高齢化・人口の流出で放置・無管理空き家が増えている。防犯、防火上の問題や環境・衛生の悪化、安全確保のため一定の措置が必要であるが行政としての考えを。

答 名寄市の専用住宅数は1万139戸に対し、空き家



動線の整備が求められる名寄市立総合病院

戸数が357戸。管理不全と思われる家屋は86戸、0.8%で、放置されている空き家の実態を把握するため、データベースを設け空き家状況を登録する作業に着手している。すべての把握には至っていないが、所有者等を特定する作業など庁内関係部局と連携を図り、効率的な空き家対策を進められるよう整備に取り組んでいる。
他の質問・公立校の35人学級の拡大及び中学校における特別支援員の配置について

一般質問



子ども達の未来のために

市政クラブ 山田 典 幸 議員

問 国の農政改革に対する

当市としての考え方を伺う。

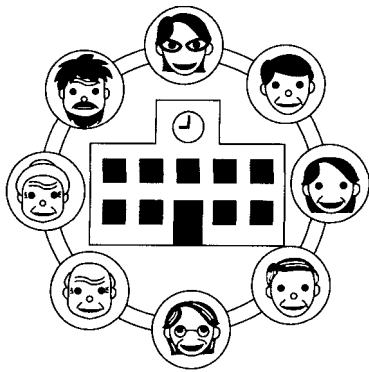
答 農産物の輸出促進、地産地消、食育の推進、6次産業化の推進など国の施策で有効活用できるものは積極的に取り組んで行きたい。一方で農地中間管理機構の活用など地域の実情に合わない施策については、制度改正の要望等を含め検討すると同時に、関係機関・団体・生産者と連携し、当市独自の施策の展開に向けて検討をして行く。

問 学校教育の更なる充実を

いる名寄市として目指すべき学校教育の姿について、教育長の考えを伺う。

答 現在コミュニティが希薄になっていると指摘されているが、子ども達が抱える課題を地域ぐるみで解決して、質の高いより良い教育を提供するために学校・家庭・地域

社会が協力しあうことを根本的な考え方としておくべきだと考えている。文科省では制度の一つとして、コミュニティスクールを積極的に導入しようとしている状況を踏まえて当市においても先進地の取組みについての情報収集と、智恵文地区における小中一貫の取組みや、東小のコミセンの取組み等の成果を踏まえて、望ましい学校教育のあり方について今後調査・研究をしていきたいと考えている。



地域社会で学校教育を支えよう

問 中小企業に手厚い振興を

の見直しを予定しているが、

名寄市の商業概況をみると平成16年から24年までに小売業で86店、年間販売額で97億円、従業員数で618人がそれぞれ減少している。目を覆うばかりの惨状だが、現状のまま推移すると、あと4〜5年で名寄から小売店が姿を消す計算になる。早急な担い手対策や事業承継の対策を。

答 数字を聞いて深刻な状況であることを改めて感じている。新年度きちつと個店主の方々からご意見をお聴きしながら担い手対策など手厚いものとなるよう、市としてきっちり対応していく。

問 温浴施設の要望に回答を

昨年未だに風連商工会から、回答者の66%が希求する意識調査をもとに温浴施設の設置等を盛り込んだ要望書が市に寄せられているはずだが

市民が主役のまちづくり

新緑風会 大石 健 二 議員

未だに誠意ある回答が行われていない。回答はいつ頃になるのか。

答 一つの自治体で2つの公共温泉の運営は難しい。要望の中に27年度予算にかかる項目があったため、3月中には回答する運びとなっている。

他の質問・市の地方創生総合戦略とは・少子化対策は・限界集落(町内会ほか)対策は・お試し移住住宅の現状課題・市の「雪育(ゆきいく)」の現状と取り組みについて



厳しい「冬の時代」の名寄商店街

雪育(ゆきいく;造語): 年間を通して雪と氷に親しみ、雪かきからスポーツやマナーなど冬季間の生活を系統立てて学ぶ育成プログラム。

委員会活動をお知らせします

総務文教常任委員会

委員会は平成26年12月22日、平成27年1月15日、1月26日、2月23日に開会しました。平成27年度借上げバスの運賃にかかる緩和措置について、放課後南児童クラブ建設について、教育委員会制度改革について、仮称市民ホールの建設工事進捗状況等について、名寄市内高等学校在り方検討会議の設置について報告を受けました。次に第4回定例会にて付託された名寄市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の設定について、名寄市民文化センター条例の一部改正について、名寄市多目的研修センター条例の一部改正について以上3件について当委員会で審議した結果、いずれも原案通り可決すべきものと決定しました。



急ピッチで工事が進む市民ホール

市民福祉常任委員会

委員会は、平成27年2月16日、3月4日、13日に開会。2月の委員会の主な内容は、市立病院関連では24時間保育所の開設等。市民部関連では、空き家対策の法整備状況、公金クレジット収納等。健康福祉部関連では、国民健康保険税の改正等。3月の委員会は、第一回定例会で付託された名寄市保育所に関する利用者負担額を定める条例の制定について審査。主な内容は、児童福祉法の改正により保育料の徴収根拠がなくなることから市の条例が必要のため制定するもの。主な変更点は保育料の徴収根拠を所得割から住民税所得割へ変更、現在の保育料を原則継承した内容。2回の慎重な審査を行った結果、原案通り可決すべきものと決定しました。



健やかな成長を願って

経済建設常任委員会

委員会は1月19日と2月16日の2回開会。議題は経済部所管事項では、災害支援資金の新設及び償還猶予（大雨被害の罹災生産者支援措置）名寄市ふうれん望湖台自然公園条例の一部改正（センターハウスの取り壊しに伴うテニスコート、パークゴルフ場の用途廃止）名寄市木材需要拡大センター条例の廃止（「なよろ親林館」の用途をトムテ文化の森」に集約する）について報告を受けました。建設水道部所管事項では、名寄市水道・下水道事業中期経営計画中間報告 名寄市手数料徴収条例の一部改正 市道除排雪状況 名寄市一般会計補正予算案 名寄市水道事業、下水道事業補正予算について報告を受けました。



審議中の常任委員会

議会運営委員会

平成27年第1回定例会の議会運営にかかわり、2月23日、3月12日、同13日、同18日に委員会を開催しました。第1回委員会では、定例会を2月25日から3月20日までの24日間と確認するとともに、代表質問を3月10日、一般質問は同11日、12日、同16日から4日間にわたり予算審査特別委員会を行うことを決めた。上程議案は、当初38件だったが、12日の委員会で市長から「名寄市介護保険条例等の一部改正について」他1件の議案撤回願いが市長から出されるとともに、2件の追加議案があり、さらに第3回委員会で2件、第4回委員会でさらに6件の追加議案が提出され、議事日程に加えた。このうち、代表質問登壇者は3人会派3人、予算総括も3人会派3人が行うことを確認。予算審査特別委員長に日根正敏委員、副委員長には塩田昌彦委員を確認。議決事項の2計画については最終日に採決することとした。

☆ き ほ う ☆



夢中になれるまちづくり
 名寄市西3条南3丁目 木賀 義友

私は2007年に名寄青年会議所に入会し、昨年は理事長を仰せつかり大変貴重な経験をさせていただきました。青年会議所は「まちづくり団体」と言われることがありますが、何をもちまちづくりなのかを一言で表すのは難しいものです。そんな中、俵万智さんのツイッターでの息子さんの言葉に出会いました。宿題を少しやっでは「疲れた～」と投げ出す息子。「遊んでいるときは全然疲れないのにね」とイヤミを言ったら、『集中は疲れるけど、夢中は疲れないんだよ！』と言り返されました。この一言は、子を持つ親として大きな共感を覚えると同時に、青年会議所運動を行う上でのヒントを得たように思いました。我々青年責任世代が夢中になって「まちづくり」を行えば、必ず元気で明るいまち「なよろ」の創造につながると信じ、これからも日々精進いたします。



全道大会の思い出と目標
 名寄市西13条南11丁目 内田 涼希

「トラック協会杯全道少年団サッカー大会」に出場しました。結果は、1勝しかできませんでしたが、点を決めたことと、チームのみんなとパスをつないでシュートまでいったことなど、仲間と戦ったことはとてもいい思い出になりました。そして、強いチームと戦っていろいろなことを学ぶことができました。次の目標は予選を勝ち抜いてまた全道大会に出場することです。

ぼくは、周りをたくさん見てプレーすることやチームのみんなとパスをつないで相手をくずしてシュートを決めたいです。そのためには、コーチの話をしっかり聞いて、教わったことができるように、チームのみんなと一っしょに努力していきたいです。



チームの仲間たちと

議会スナップ

第31回ふうれん冬まつりが2月7日、8日に開催されました。今年も「雪像を造ろう議員団(日根野正敏 団長)」を結成し、干支にちなんで Sheep(羊)スライダーを製作。当日は子どもたちの歓声が会場いっぱいに響いていました。

昨年に引き続き特別賞を受賞しました。



- 20度のしばれの中で製作に励む議員団

編集後記

光陰矢の如し。議会だより発行の任を引き継いでからかれこれ4年が過ぎようとしています。この諺には、月日の過ぎるのは矢が飛んで行くように早く、日々を無為に送ってはならない、という戒めが込められています。平成23年の改選後に選任された議会報特別委員会委員は8議員。半ばで委員の交代があったものの、発行に際しては原稿依頼から校正などの編集作業も熱心に取り組み、4年間で実に21号も発行してきました。在任の4年を振り返ると、懸案であった市広報と共に保存できるようにと穴を左向きに変えた他2色刷りに改め、読者である市民の皆様の声を反映した誌面づくりに取り組んできました。議会だよりも現在のメンバーで発行するものも今号で最後となりました。これまで不向き届きもあつたかとは思いますが委員各位、議会事務局の皆様をはじめご愛読頂いた市民の皆様には厚く感謝申し上げます。

(健)

